

チュウゴククロナガオサムシ

兵庫県：要注目

Leptocarabus kyushuensis nakatomii

環境省：

種の概要

体長29～37mm。前頭両側から複眼間に縦じわがあり、頭部には横じわがある。前胸背板はほぼ方形で後方は強く狭まり、後角は強く突出する。基部凹陷は深く広く、内縁は前方に収斂し、側方で浅く広い側溝と合流する。側縁の剛毛は2本、上翅は長く、後方約1/3で最も幅広く、側縁は肩部までやや直線的。上面は光沢を欠き、間室は細く隆起は弱いがクロナガオサムシよりは均一で、第1次間室の鎖線に次ぎ第2次間室が高いが、第2、第3が同等の場合もある。丘孔点列の顆粒は後半では間隔が大きい。樹林の林床などに生息し、小昆虫や小動物を捕食する。



写真提供：森正人

国内分布

本州

県内分布記録

赤穂市、上郡町、佐用町

選定理由

人為性		特殊生息環境	学術性		
個体数激減	生息環境激変		分布が極限	分布の限界	希少
			○		



特記事項

Cランクから要注目に変更
生息環境は広く存在し、個体数減少の情報はない。

保護上の留意点